▲マナーを守って楽しい散歩を

気持ちよく歩けますか

歩道や公園に、犬や猫のふんが放置されているのを見掛けたことはありませんか。散歩したり公園で遊んだりしていても、このような状態ではせっかくの気分が台無しですね。特に春先、雪が解け出すと目に付くふんには、うんざりしている人も多いのではないでしょうか。

犬や猫のふんなどは、本来自分の敷地内で済ませたいものです。そのため、小さな頃からトイレのしつけをすることが必要になります。それでも、散歩の最中に排せつしてしまった場合には、飼い主がきちんと片付けていくのがマナーです。

少しの〜遣いを

きれいな街に住み、きれいな道を歩きたいというのは、全ての人の思いです。マナーを無視して、そんな思いを踏みにじるような飼い主が増えていけば、近隣の人々との対立が生じることにもなりかねません。そうなってしまっては、飼い主にとっても、地域にとっても、二重に不幸なことではないでしょうか。

飼い主一人ひとりが積み重ねる少しの心遣いが、やがて大きな心遣いに育ったとき、地域の中で誰もが気持ち良く暮らしていけるようになるはずです。

ふんだらけの道なんてイヤ！

▲ふんで袋がいっぱいになります

曙連合町内会は３月下旬に『犬のふん清掃』を実施。前田老輝会（老人クラブ）を中心とする16人の有志が集まって、まだ雪が残る道路脇に点在するふんを、一つ一つ取り除いていきました。

今回の『ふん清掃』の音頭を取った上田孝（うえだ たかし）さんは、「ペットのふんの始末をきちんとする飼い主は増えていますが、雪の中などに隠していってしまう人もいます。みんなが気持ち良く暮らしていくために、最低限のマナーは守ってもらいたいですね」と、話していました。

きれいな街づくりのために、今後はさらに多くの人々に運動への参加を呼びかけていくそうです。

今、猫を飼っているあなたに・・・

- □ 感染症の予防注射を受けさせましょう。
- □ 周囲に迷惑をかけないように気遣いましょう。
- □ 交通事故や感染症などから守るために、できるだけ室内で飼いましょう。
- □ 野良猫にえさをやらないようにしましょう。